

簿記・会計

簿記・会計

〔Ⅰ〕 以下の取引について仕訳せよ。

- (1) A商店はかつてB商店に対して現金1,000,000円を借用証書によって貸し付けていたが(貸付期間1年間、年利率3%)、本日、回収期限が到来し、利息とともに現金で返済を受けた。
- (2) C商店はD株式会社の社債(額面金額:1,000,000円)を売買を目的として、額面100円につき99円で購入し、代金は小切手を振り出して支払った。
- (3) E商店はかねてF商店に商品700,000円を売り上げ、F商店振り出しの約束手形で受け取っていた。しかし、本日、F商店振り出しの約束手形700,000円が支払期日になっても支払われないことが確定した。そのため、E商店はF商店に対して償還請求を行い、償還請求費用1,000円は現金で支払った。

〔Ⅱ〕 以下の取引について①購入時に資産で処理する方法、②購入時に費用で処理する方法のそれぞれについて、消耗品勘定、消耗品費勘定に記入せよ。

- 4月1日:消耗品を30,000円分購入し、代金は現金で支払った。
12月31日:本日は決算日であり、消耗品有高は5,000円であった。

〔Ⅲ〕 減価償却費の見積もりの方法の中でも定額法と定率法のそれぞれの会計処理について説明せよ。